

ノロウイルス

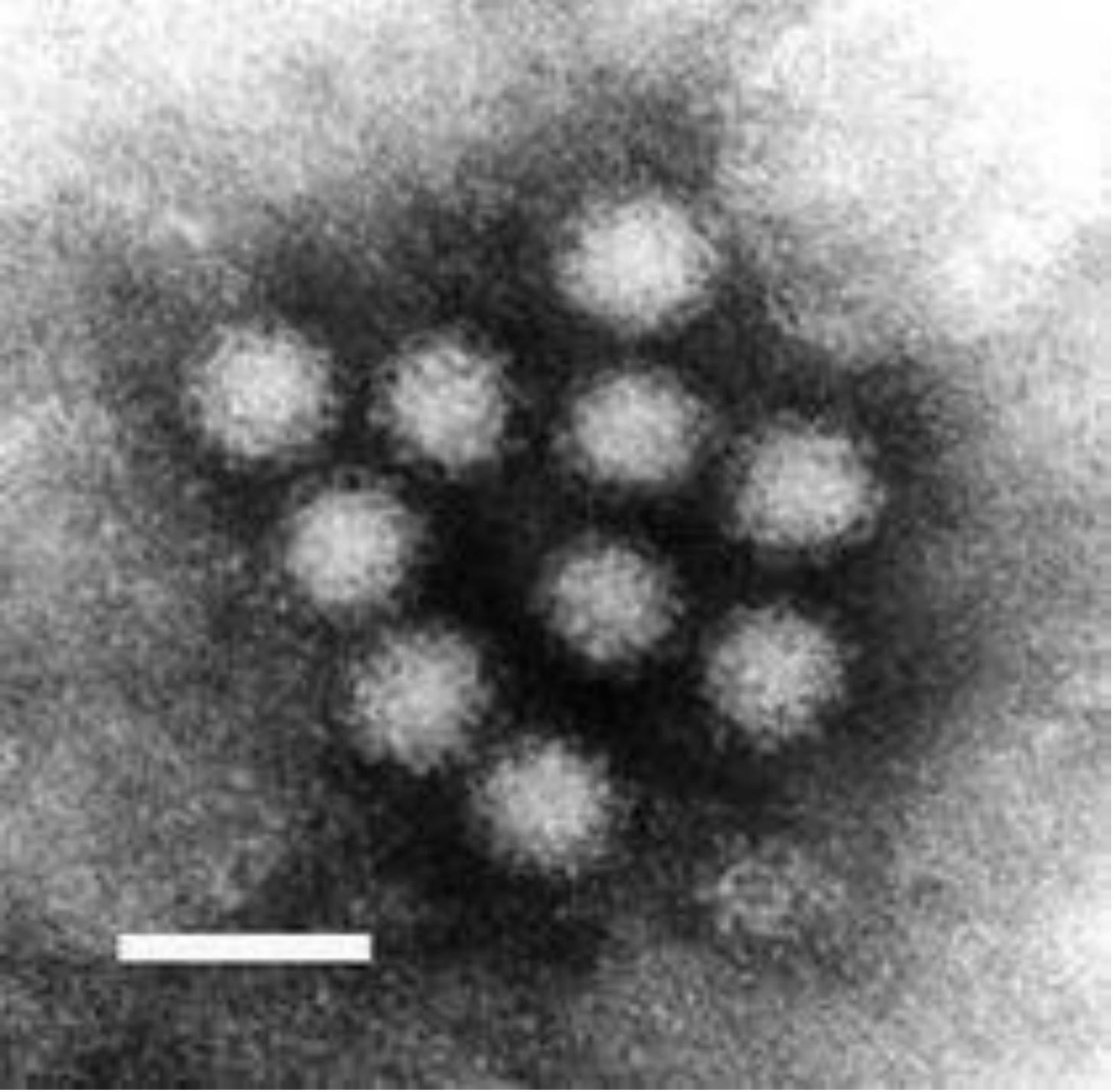
1. 潜伏期間（感染から発症までの時間）は**24～48時間**
2. 主症状は**吐き気、嘔吐、下痢、腹痛**であり、発熱は軽度（37～38℃位）
3. 症状は通常1～2日ほど続き治癒する
4. 免疫力の低下した**老人や乳幼児**では**長引く**ことがあり、激しい嘔吐や下痢による脱水症状に気をつける
5. 感染しても発症しない場合や軽い風邪のような症状のみの場合もある
6. 後遺症が残ることはない

7. 症状が消失しても、10~30日ウイルスの排出が続く
8. 下痢や嘔吐が続いている時は、食品を直接取り扱わない
9. 症状消失後も2週間は同様の注意が必要
10. 一度感染しても、多数の「遺伝子型」が存在するので、同じ人が複数の違った型のウイルスに感染することもある
11. 腸粘膜の局所感染なので、感染者の免疫持続時間も短く、時間が経てば同じ型のウイルスにも再感染する

ノロウイルスの

透過型電子顕微鏡写真

(スケールバー50nm)



ノロウィルスの感染経路

1. 感染した人の便や吐物に触れた手指を介してノロウィルスが口に入った場合
2. 便や吐物が乾燥して、細かな塵となって舞い上がり、その塵と一緒にウィルスを体内に取り込んだ場合
3. 感染した人が十分に手を洗わず調理を行い、その調理済み食品を介してウィルス感染が拡がる場合
4. ノロウィルスを内臓に取り込んだカキやジミなどの二枚貝を、生または不十分な加熱処理で食べた場合

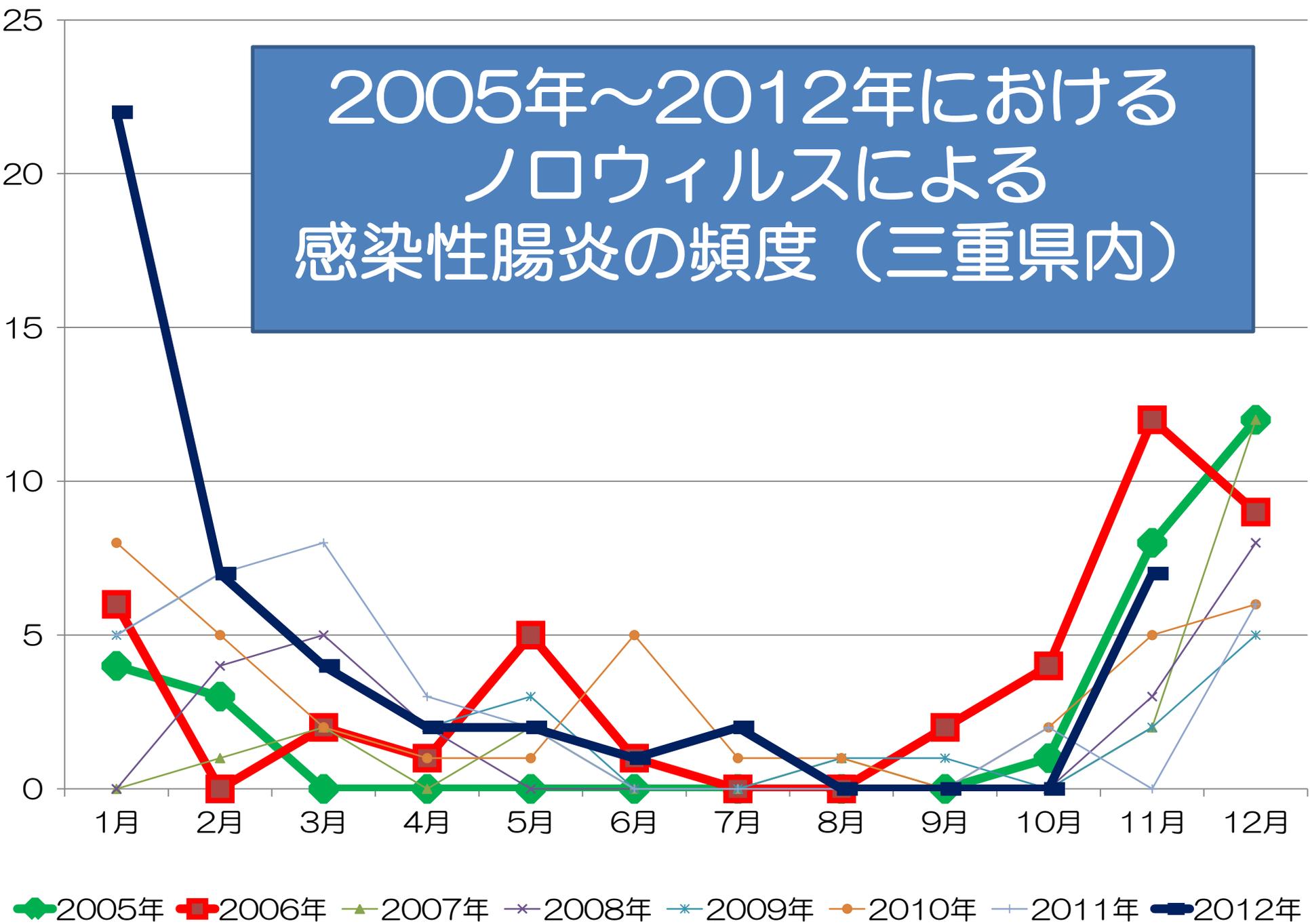
ノロウィルス感染症の予防法

1. 排便後、調理や食事の前には石けんと流水で十分に手を洗う
2. 便や吐物を処理する時は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用する
3. カキなどの二枚貝を調理するときは、中心部まで十分に加熱する
(中心温度85℃、1分以上の加熱)
4. ウィルス汚染の程度が低い調理器具等は、0.02%の次亜塩素酸ナトリウム(キッチンハイター)、または熱湯(85℃以上)で1分以上の消毒する

ノロウイルスの至適環境

- ノロウイルスは温度が低ければ低いほど、長期間生存し、 -20°C で数年間、 -80°C だと数十年間生存
- 凍結食品を融解すると、ウイルスの蛋白が破壊され、凍結・融解を繰り返すと、ノロウイルスは不活化し、感染力はなくなる
- 寒期に流行し、低温では長期間生存し、乾燥にも強い
- 生存期間は、 4°C で1~2ヶ月、 10°C 以下では1ヵ月、室温では10日間生存し感染力も保持
- 冬期はカキなどの二枚貝を生食する機会が増加し感染
- 海水温度が 10°C 以下になると、カキを介する食中毒が多発

2005年～2012年における ノロウィルスによる 感染性腸炎の頻度（三重県内）



◆ 2005年 ■ 2006年 ▲ 2007年 × 2008年 * 2009年 ● 2010年 + 2011年 ● 2012年

